令和７年度は、クリエイティブスクールの改編に着手する。

１　改編する高校

（１）全日制の課程（総合学科（クリエイティブスクール））から

全日制の課程（総合学科）への改編

|  |  |
| --- | --- |
| 対象校  （所在地） | 改編時期 |
| 高校  （大阪市平野区） | 令和９年度 入学者から |

（２）多部制単位制高校から全日制単位制高校への改編

|  |  |
| --- | --- |
| 対象校  （所在地） | 改編時期 |
| わかば高校  （大阪市生野区） | 令和10年度  入学者から |

２　改編の理由

（１）東住吉総合高校

・**東住吉総合高校**は、総合学科として、共通教科から工業や商業などの専門教科まで幅広く科目を開設するとともに、機械技術、電気技術、住環境、ビジネス、英数、文化と教養の６つの系列を設置し、生徒が自己の興味・関心や進路希望に基づき、主体的に科目を選択して系統立てて学ぶことにより、生徒の能力や個性を伸ばしながら進路実現をめざす取組みを進めている。

・また、生徒が自ら学ぶ科目や時間帯を選択することができる全日制の課程総合学科（クリエイティブスクール）として、１～８限の中から生徒が１日６時間を選択する教育システムを実施してきたが、近年、同校におけるクリエイティブスクールとしての機能に対する生徒のニーズが限定的である状況を踏まえ、同機能について令和９年度に発展的解消をするとともに、多様な学びに対応する系列を設置する総合学科として、更なる取組みの充実を図る。

なお、同校が有していたクリエイティブスクールとしての機能は、中央高校において、受入れ規模や機会の充実をはかることにより果たしていく。

（２）大阪わかば高校

・**大阪わかば高校**は、多部制単位制高校（クリエイティブスクール）としてⅠ部及びⅡ部を設置し、生徒が自分の生活スタイルに合わせて学ぶ時間帯が柔軟に選択できるとともに、多様な選択科目から興味関心に合わせて科目を選択することができるという柔軟な教育課程を展開してきた。加えて、令和４年度から日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜をⅠ部において実施し、日本語指導が必要な生徒の受入れを行ってきた。

２－２

・現在、府立高校では、日本語指導が必要な生徒が急増しており、受入れ経験の少ない府立高校への少数散在化が進んでいる。また、府立高校への年度途中の編入学や秋季入学者選抜の受験者も増加傾向にある。

・この状況に対応していくため、同校を令和10年度から日本語指導拠点校とするが、生徒の多くがⅠ部に加えⅡ部を併修し、全日制の課程に近い学習形態となっていることを踏まえ、同校を全日制単位制高校へ改編する。

・なお、同校が有していたクリエイティブスクールとしての機能は、中央高校において、受入れ規模や機会の充実を図ることにより果たしていく。

２－３